

一般質問通告書

質問順 ①

質問事項	質問要旨
12番 森田喜久	
1. 国民保護法と地方公共団体の責務について	<p>近年、北朝鮮の軍事的な動きは、わが国はもとより、地域・国際社会の安全に対する重大かつ差し迫った脅威となっている。特に、2回の核実験を強行し、20発以上の弾道ミサイルを発射した昨年来、北朝鮮による核・弾道ミサイルの開発及び運用能力の向上は新たな段階の脅威となってきている。</p> <p>本町においても北朝鮮の弾道ミサイル発射に対する抗議声明が何回も精華町長、精華町議会議長名で出されています。そうした中、あつてはならない事態から国民を保護する国民保護法とそれに基づく地方公共団体の責務とは何か、について伺います。</p>

質問事項	質問要旨
9番 松田孝枝	
1. 子どもを守る	<p>本年の年頭の町長あいさつにもあったように、本町で「子どもを守る町」宣言がされてから50年の節目の年である。本町の先人たちの願いを込めて、子どもを守る施策について問う。</p> <p>(1) 就学援助</p> <p>①入学準備金の前払いについて実施が表明されているが具体的な実施の手順、時期などについて問う。さらに、入学準備のための余裕のある実施時期を求める。</p> <p>②「準要保護児童・生徒」の基準は市町村教育委員会の判断となっている。本町の判断基準について問う。</p> <p>③生活保護費の削減による影響についての認識。</p> <p>④判断基準の引き上げを求める。</p> <p>(2) 子ども・子育て支援事業計画(平成27年3月策定)の改定に向けたアンケート調査が予定されている。事業計画の事業実施状況につき次の点を問う。</p> <p>①夜間・休日保育の実施の見通し。</p> <p>②子どもセンター(仮称)の整備の基本的な構想。</p> <p>(3) 健康総合拠点の基本構想と保健センターの早期移転。</p>
2. 連節バス	<p>①この間、連節バス運行に関わりさまざまな懸念がだされ、また具体的な提案も行われてきた。すでに、祝園駅西ロータリーの改造工事が始まっている。周辺自治会や関係団体への説明なども求めてきたところである。説明会の実施状況と出された課題などへの対応。</p> <p>②「地球温暖化対策協議会」が開かれ、連節バス運行にかかわる協議が行われた中で、連節バス運行時間、運行経路や普通バスの増便計画などが示された。当面は、企業近くまでの運行だが、光台地区内の未整備のバス停を改良後、循環道路を運行することも示された。地元からは、連節バスに対応できる安全なバス停設置ができるのか不安の声が上がっている。</p> <p>運行経路については、地元説明と合わせて再検討すべきだと思いがいがかか。</p>
3. 南稲八妻川原谷における林地開発行為	<p>平成26年9月議会で南稲工区の砂利採取場の埋戻しについて質した。その後の経緯と事業認可の現況とその内容について問う。</p>

質問事項	質問要旨
16番 今方 晴美	
1. 引きこもりの社会復帰支援	<p>住民の方から娘や息子が一旦社会に出たが、仕事や人間関係等に挫折し引きこもりになっているという話を耳にすることがあります。</p> <p>平成27年8月、厚生労働省は、引きこもりを「様々な要因の結果として、社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職員を含む就労、家庭外での交遊）を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態」と定義し、それが、約26万世帯に上ると推計しています。</p> <p>本町においても、地域で就労できずに引きこもっている実態を調査し、支援策を講じていくべきと考え、次の点を伺います。</p> <p>① 本町における引きこもりの現状は。</p> <p>② 引きこもりの支援状況は。</p> <p>③ 今後、社会的孤立防止対策、引きこもり支援などさらなる取り組みを。</p>
2. 医療費の適正化	<p>近年、高齢化の進展や医療の高度化で医療費は年々増加しており、本町においても大きな課題です。</p> <p>国民健康保険制度を将来にわたって安定的に運営するためには、住民の主体的な健康づくりを支援し、健康意識の高揚を図り、増大する医療費の抑制と健康寿命の延伸に取り組むことが重要です。</p> <p>本町においても、健康増進事業や医療費削減のための様々な施策が検討・実施されていますが、今後の事業展開、さらなる取り組みについて、次の点を伺います。</p> <p>① 国保データヘルス計画はいつ公表するのか。</p> <p>② 国保データベースシステムの現状分析の結果から、本町が健康課題として取り組むべき事業や対策は。</p> <p>③ 前年度の特健診の結果を踏まえ、糖尿病性腎症の早期発見、重症化を防ぐため、対象者へ「微量アルブミン尿検査」の導入を。</p> <p>④ やむを得ない理由で検診を受診できなかった方が、翌年に申請し審査によって受診できる町田市が実施している「乳がん検診特例措置制度」の導入を。</p> <p>⑤ 処方された多量残薬が問題視されています。残薬は医療費を圧迫するだけでなく人命にも影響する問題です。他市では、薬剤師会が「節薬バック運動」を行い医療費削減に取り組む成果を上げています。検討可能か。</p>

質問事項	質問要旨
2番 岡本 篤	
1. 農業施策について	<p>①全国的に高齢化、担い手の不足など農業就業人口の減少やそれに伴う耕作放棄地の増加など農業を取り巻く環境は、厳しさを増しています。本町においても同様の問題がございます。</p> <p>これを受けて平成25年度より農地中間管理機構が設置され、主に農地の貸し手、借り手をマッチングさせて農業者の担い手の発掘や耕作放棄地の解消、さらには、基盤整備（ほ場整備）を行い集積・集約して有効活用などを目的とした活動をされていますし、府下では、すでに利用されている方もございます。</p> <p>現在は、基盤整備を行うと受益者（農業者）負担が発生しますが、平成29年5月に土地改良法が改正され、受益者（農業者）の費用負担を求めない基盤整備（ほ場整備）制度ができました。</p> <p>一定の条件はあるものの地元負担相当分を国が負担するというものであります。</p> <p>京都府では、平成30年4月から実施との事ですが、他の県での先進の成功事例もありますので、過去から話があります菱田地区など今後、本町全体でこのような高齢化や耕作放棄地などの対策として農地中間管理機構を活用することが非常に有効だと考えますが、本町の考えを伺います。</p> <p>②町長の施政方針の中の農業関係について数年来、主な施策として取り組んでいただいておりますが、具体的には、どういった取り組みで、どのような成果があり、更に平成30年度はどのような施策を考えられているのか伺います。</p>

質問事項	質問要旨
10番 山下 芳一	
<p>1. 光台・精華台地域の公共交通機関の状況と交通安全対策等について</p>	<p>学研都市精華・西木津地区では、企業の施設建設が相次ぎ、竣工も進み、業務を始める企業も出てきました。</p> <p>これから順次業務を始めていく企業が増えていきますが、既存企業の従業員数に比べ、参入してくる企業の従業員数は相当多く、1企業で1,000人とリリースしているところもあり、町民の交通の利便性や交通事故等について懸念するところです。</p> <p>これに関連して、質問します。</p> <p>①通勤・通学に公共交通機関のバスを利用されている町民の方が、バスに乗車できない状況は発生しないのか。</p> <p>②バスが過密な満車になったり、満車で乗車できない状況があると、自家用車での祝園駅への送迎増加にならないか。</p> <p>③企業によっては、自家用車通勤総て可の所もあり、目に見えて精華大通りの交通量が増えている。町として交通安全対策・安全啓発はどうしているのか。</p> <p>特に、企業の始業時間(終業時間)と児童・生徒の通学時間(下校時間)がかぶることから、接触事故が懸念されるが、町としての対策はどうするのか。</p> <p>④具体例で、光台交番前交差点の交通事情はかなり悪化している。大通りからの右折・左折の自動車と東光小学校児童、精華西中学校自転車通学生徒の大きな事故が懸念される。交通安全指導員(警察)等の専門員の配置はできないのか。</p> <p>⑤通学路で横断歩道や停止線が消えかけているところがある。先の光台交番前の状態は特に悪い。改善できないか。</p> <p>⑥祝園駅西口発(山田川行)7時50分発のくるりんバスは、祝園駅で満車、けいはんなプラザ前で空車となる。(他に、けいはんなプラザ18時30分祝園駅行等も含めて)在住の町民の方が満車で乗車できない状況がある。今後の対策をどのようにしていくのか。</p> <p>⑦けいはんなプラザと学研都市記念公園間の商業施設への自動車の乗り入れも多くなり、実際に近隣市町からも多くの方が来られています。商業施設において、日によっては満車に近い状況もある。今後、益々交通事情の悪化が懸念される。企業が増えていく中で、駐車場確保(不足)の課題は予想しているのか。</p>
<p>2. 連節バスについて</p>	<p>①連節バスについては、賛否両論あるが、稼働にあたり物珍しさ等から、観光としての乗車や写真撮影等での事故も考えられる。対策・</p>

	<p>安全啓発を考えているか。</p> <p>②連節バスの経路を、新たに町民に知らせて本格稼働前に諸注意等を含めて、安全確保の啓発をしたらよいと思うが、どうか。</p> <p>③南山城支援学校等の通学バスや企業送迎バスが現・バスロータリーを利用しているが、使用できなくなり代替え措置のことを伝えているか。南山城支援学校の祝園駅西口乗車児童・生徒の状況によっては、今後、特例で現ロータリー使用可となる見込みはあるのか。</p>
<p>3. 学校備品の納品 進捗状況は</p>	<p>9・12月議会で質問した事柄の進捗状況を聞きます。 今年度の教材備品の納品は、2月末で終わっているか。</p>

質問事項	質問要旨
13番	塩井 幹雄
1. 障害者福祉について	<p>一般住民と平等に障害がある人も地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、普通に暮らし、障害者が地域の一員としてともに生きる社会作りを、町は福祉サービスを始めとする福祉政策を推進し頑張ってきたと思います。近年、障害者差別解消法の施行に伴い、また京都府の条例（京都府福祉のまちづくり条例）の施行もあり、法制面からいえば整備がされてきたところであるが、現状は依然と変わらず、障害者にはまだまだ厳しい状況におかれていると思います。今後、障害者が希望のもてる生活ができるよう支援を推進していただけるよう何点か伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 障害者支援の福祉施策の現状は。 ② 障害者基本計画の見直しの方針、考え方は。 ③ 公共施設、教育施設のバリアフリー化の現状と今後の対策は。 ④ 更新予定の大型バス「ふれあい号」の障害者対策は。

質問事項	質問要旨
18番	佐々木 雅彦
1. 住民自治を支える情報公開と共有	<p>住民自治や住民との協働を推進するためには、情報公開と共有が大前提となる。その観点から問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 記者発表情報の即日ホームページ掲載、議会への同時通知。 ② パブリックコメント前、縦覧前の議会通知。また、①②をスムーズに実施するシステム構築を問う。 ③ 意思形成過程情報の積極的公開と基準の明確化。 ④ 本町関連情報の収集と配信機能の必要性がある。認識と担当部署を問う。 ⑤ 住民参画と知恵の出しあい・協働の姿勢を問う。
2. 安心・安全のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 歩道の不連続など、交通安全対策の計画的改善を問う。 ② 本町が同意し広域圏計画にも掲載されている多言語サインの設置計画を問う。 ③ 障害者差別解消法を具体化する各種条例の制定計画を問う。 ④ 子どもの医療費助成に伴う国民健康保険の減額調整措置が一部廃止される。生み出される財源の用途を問う。また、子育て支援策の一環として、子どもにかかる均等割課税に減免措置の導入を提案する。 ⑤ 線路を挟む東西交通の改善が遅々として進んでいない。踏切時間の短縮・拡幅・歩行者専用踏切の設置など、経過と進捗を問う。

質問事項	質問要旨
	6番 青木 敏
1. 町の財政を問う	<p>(1) 町長はいつも平成16年度に318億円の借金があった、それを減らしてきたといろんな場面で話をされる。何度もお聞きしていると、私には、町長はこの借金ができたことが悪いと言われているように聞こえる。急行停車のための駅前周辺整備や学研地区の開発などで、私には町にとって必要な借金だったと思えるのだが、町長は、債務（借金）をどう考えるか。以下の項目について問う。</p> <p>① 平成16年当時の借金318億円の主な内訳は。</p> <p>② この借金は町にとって無駄な借金だったと考えているのか。</p> <p>③ 平成16年以降、人口も増え、企業進出などで税収も増えている。計画的な借金返済はできているのか。</p> <p>④ 3月で平成29年度が終わる。当初予算編成時点では192億1000万円となっている。今年度の返済は予定どおりか。</p> <p>(2) 町の発展、事業を行うには大きな資金が必要となる。国や府などからの補助金や助成金などを利用しては町の負担はあると考えるが、今後の大きな借金の予定について問う。</p> <p>① 今後、近い将来の大きな借金を伴う事業の予定は。</p> <p>② 本町の借金をみると、平成28年度は185億円弱、平成29年度はまた増える見込みのようであるが、いくらまでの借金が許容範囲と考えるか。</p> <p>(3) 平成25年度の決算説明で、債務残高を確実に減少させているが、一方で基金残高も減少傾向にあり、基金頼みの財政体質であると説明している。またそれ以降の3年間、政策的に回せる財源が皆無と言える状況から、各種事業の推進には引き続き先行した基金積み立てや財源調整の安定強化が不可欠と言えると説明している。基金についての考え方を問う。</p> <p>① ずっと減り続けている。適正と考える基金の額は。</p> <p>② 安定強化のためどんな施策を行ってきたのか。</p> <p>③ 平成30年度の基金残高（見込）6億7500万円で大丈夫か。</p> <p>(4) 前記を考慮して、平成28年度は実質赤字となりながら、昨年の3月に議員報酬を上げる提案をしている。今年度の財政の見通しを伺う。</p> <p>① 平成30年度の予算編成にあたって、平成29年度決算はどう予想しているのか。黒字か、赤字か。</p> <p>② 町の財政は、厳しいのか、余裕があるのか。</p>

<p>2. 早急な水害対策を</p>	<p>(1) 先日の建設産業委員会で、町内の水害が起こりやすいところの地域（7箇所）とその対策についてお聞きした。町の基本方針として「命を大切にする安全・安心のまちづくり方針」を掲げられているのに、毎年のように起こる水害はそのままなのか。住民にいつまで我慢させるのか。</p> <p>① 「雨に強いまちづくり」の今後の対応を問う。また、いつまでに住民が納得できる対応ができるのか。</p> <p>② たびたび浸水している箇所について、借金をしてでも早く整備はできないのか。</p>
--------------------	--

質問事項	質問要旨
	3番 宮崎 睦子
1. 生涯教育と福祉的観点からの図書館活用について	<p>厚生労働省は2017年7月27日、2016年の日本人の平均寿命が、男性80.98歳、女性87.14歳となり、前年と比べ男性で0.23歳、女性で0.15歳延び、いずれも過去最高を更新したと発表しました。男女とも香港に次いで世界2位で、男性は前年の4位から順位を上げました。このように、平均寿命の延びにともない、退職後の生き方が大変重要であると考えます。</p> <p>2012年12月議会での一般質問で、経験豊かで元気な高齢者の居場所として、図書館を中心に、隣接する交流ホールを講演会開催会場やサロンとして活用するなどの提案をしたところ、「団塊世代の活動の場をつくる事は重要な課題です。各種の講座やサークルの結成など、積極的に取り組みます。」との答弁を得ました。</p> <p>本町では、地域のボランティアの方々による積極的な高齢者サロンの取り組みが進められていますが、月1回から2回の開催が平均であり、先日開催した「議会報告会（第2部）の意見交換会」でも、サロン運営のリーダーの方々は、行き詰まり感を話されていました。特に、男性の参加者が少ないことや参加者が固定化されてきていることなどが課題であり、引きこもりの高齢者をつくらないため、少しでも外に出てきていただくことに苦慮されているとの現状報告を得ました。</p> <p>以上の現状を勘案し、本町の図書館運営と福祉的観点から、広い意味での生涯教育に繋がる提案ができないかとの思いで、昨年11月に野々市市にオープンした、学びの杜「のいちカレード」に、本年2月、総務教育常任委員会の委員として管外研修に行つて来ました。私の期待通り、生涯教育の場として、また様々な年代の人々が1日ゆつくりと共に過ごせる居場所として、素晴らしい施設であると感じました。本町にもこんな施設があればと思いますが、新しい施設を造る事は、本町の厳しい財政状況では不可能と考えます。</p> <p>であるならば、今の資源を活用した取り組みができないか、以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2012年12月議会での答弁の進捗状況は。 ② 高齢者福祉の観点からサロン運営の課題は。 ③ 本町の図書館の目指していることは。 ④ 「全世代が活用しやすい図書館」としての課題は。 ⑤ 本町は「スイーツタウン精華町」として知名度が上がっています。図書館を、スイーツを食べながら1日ゆつくりと過ごせる場所にするなど、「居場所づくり」と「スイーツタウン」としての取り組み

	<p>を提案します。</p> <p>⑥図書館での図書貸し出しカードを、マイナンバーカードに移行させる動きがあります。本来、生涯教育の観点からも、自分で借りた書物類の記録は本人のみが管理するものと考えます。また、プライバシーを侵害する恐れもあることから、マイナンバーカードへの移行は絶対反対であり、安易な移行であってはならないと考えます。本町の考えを伺います。</p>
<p>2. JR 祝園駅・近鉄新祝園駅の駅名に「学研」の冠を</p>	<p>ますます発展する関西文化学術研究都市、そして精華町。北進の山手幹線が3月17日に開通し、今春、精華大通りには、日本電産、三菱東京UFJ銀行の事務センター（仮称）関西ビジネスセンターが開業し、祝園駅からは、連節バスが走ります。</p> <p>また、昨年、北陸新幹線も京都府南部ルートに決定し、関西文化学術研究都市の発展のため、「けいはんな新線延伸」に向けた積極的な取り組みが始まりました。「精華の会」会派も、事業主体である近畿日本鉄道、京都府、国交省に対しての要望活動を始めました。今こそ、祝園駅と新祝園駅は「関西文化学術研究都市 精華町」の表玄関であると全国に知らしめる大切な時期と考えますが、駅名変更についてのその後の進捗を伺います。</p>

質問事項	質問要旨
14番 三原和久	
1. 中学校部活動の外部指導員を	26年12月一般質問から中学校部活動の外部指導員を導入することを保護者、生徒からの熱い要望で質問してきましたが、ようやく、文部科学省は昨年12月に教員の働き方改革に関する緊急対策を公表し、部活動の指導の担い手を将来的に学校から地域に移行させる検討を始めました。部活動の外部化は、長時間勤務が問題になっている教員の負担軽減につながるとしています。こうした事をふまえて、町としてはどのような対応をするか伺う。
2. 公園内の照明をLED化	桜が丘地域内の東西幹線道路照明のLED化、また町内街灯の計画的なLED化が町内各所で進められておりますが、都市公園内での照明等が暗いというご意見が住民から寄せられています。今後の対策は。

質問事項	質問要旨
1 番 奥野弘佳	
1. 公園管理について	<p>少子化や高齢者世帯の増加に伴い、従来自治会や子供会などによって、児童遊園の維持管理がされていましたが、自治会員の高齢化や子供の減少により維持管理が厳しくなっている自治会などが増加しております。地域によっては、高齢者しかいないところもあり、今後の自治会活動が困難になってきています。</p> <p>現在、自治会役員又はボランティアの方で実施しているのが実情であります。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>① 現状の草刈りなどの公園の管理、運営は。</p> <p>② 今後の公園の管理、運営の関与は。</p>